

湯岑 滉生 選手・藤田 准也 選手の紹介

湯岑 滉生 選手(22歳) 193cm 91kg
 ホームタウン応援大使
 ニックネーム
 大垣市 こうきマン、ゆみ



写真：©FC GIFU

大阪府大阪市出身、家族は両親と2歳上の姉との4人家族で育った。子ども時代ボール蹴りが好きで友達と楽しんでいた。大阪市立清江小学校4年生時に親の勧めで住吉大社サッカークラブに入り本格的にサッカーの練習を始め、大阪市立真住中学校時代も継続した。高校に進学するに当たっては、サッカー部で寮生活が出来る関西の高校の中から、和歌山南陵高等学校に入学した。友人の幅も広がり有意義な高校生活で、第100回全国高等学校サッカー選手権大会和歌山県大会では優秀選手に選ばれた。

大学は新潟産業大学に進学し、2、3年生時にデンソーカップチャレンジサッカーの北信越選抜チームに連続出場し、3年生では全日本大学サッカー選手権大会にも出場した。4年生時には大学サッカー北信越大会で新潟医療福祉大学に2対0で勝利して、降格圏から残留圏に残ることが出来たのは嬉しかった。大学時代、充実した学生生活を過ごせたのは新潟産業大学サッカー部の岡村宜城監督のご指導を頂いたおかげと感謝している。サッカーだけでなく世の中は、『運、縁、タイミング』が重要で、それを掴むためには人との繋がりが大切と教え込まれた。

まだ出場機会がなく、友人たちは来ていませんが家族は時々試合会場に来てくれている。プロ選手として健康管理も重要で、料理は油を使わない蒸籠料理を中心に自分で工夫して作っている。休みの日は温泉やサウナによく行きリラックスしています。

現在、明治安田J2・J3百年構想リーグの間にはしっかり皆から刺激を受けながら、スタメンが取れるように頑張りたいと思っている。193センチの長身を活かしたプレーと粘り強い守備で、日の丸を背負う選手になることを目指している彼の応援をよろしくお願いします。

藤田 准也 選手(18歳) 182cm / 74kg
 ホームタウン応援大使
 ニックネーム
 多治見市、御高町 じゅんちゃん、じゅん



写真：©FC GIFU

滋賀県米原市出身、両親と2歳下の妹との4人家族で育った。米原市立大原小学校1年生時に友人とボールを蹴ったことをきっかけにサッカーを始めた。大原JFC(ジュニア・フットボール・クラブ)で本格的にサッカーを始め、米原市立大東中学校時代はFosta FCでMF(ミッドフィルダー)、DF(ディフェンダー)、近江高等学校サッカー部ではDF(ディフェンダー)でプレーした。1年生時に全国高等学校サッカー選手権大会で3年生が全国準優勝を果たし、自分たちが3年時に優勝するため練習に明け暮れたが、残念ながら準決勝で敗れてしまった。

近江高校サッカー部の前田高考監督はサッカーに熱い監督で毎日厳しい指導であったが、今日自分がJリーグにいるのは監督の厳しい指導のお蔭だと感謝している。また、FC岐阜の選手であった田中大輔外部コーチが3年間、指導して頂き、練習・試合終了後も個別指導をして下さったことに大変感謝している。大事にしている言葉は、“継続”。チームとして上手くいっていてもいっていなくとも、ピッチの上ではへこまないでどんな立場になっても諦めないでやること、折に触れて思い出している。近江高校卒として初めてのJリーガーであり、たくさんの応援を頂いているのでしっかり自分を鍛えたい。

FC岐阜の選手たちは技術的なレベルも高く、優しい先輩ばかりで、サッカーの経験談など有意義な話も聞けて自分ごとにするようにしている。練習後も先輩やコーチが個別指導をしてくれて大変ありがたく思っている。岐阜の町は都会でありながら自然豊かで気に入っている。まだ全員に溶け込めてはませんが、仲良くなったらハッチャケます。と語るチーム最年少の彼の応援をよろしくお願いします。